

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月31日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009-2011

課題番号：21520322

研究課題名（和文）：固有名詞調査に基づくプルーストと芸術に関する基礎的研究

研究課題名（英文）：Basic Research on Proust and the Arts Based on a Survey of Proper Nouns

研究代表者：吉川 一義 YOSHIKAWA KAZUYOSHI（京都大学・文学研究科・名誉教授）

研究者番号：30119870

研究成果の概要（和文）：

本研究は、さまざまな芸術がプルーストの『失われた時を求めて』にどのように表象され、どのような機能を果たしているかを総合的に解明することを目的として、作家の書簡、初期作品、小説草稿などの資料をできるかぎり網羅的に調査してその芸術受容の実態を明らかにし、成果を研究集会で発表するとともに、『Proust et l'art pictural (Champion)』や『失われた時を求めて』の翻訳（岩波文庫）などに採り入れた。

研究成果の概要（英文）：

This research aimed for a comprehensive understanding of how the various arts are represented and function in Proust's "In Search of Lost Time." As much as possible, materials such as letters, early works, and novel drafts were exhaustively surveyed and the actual situations behind artistic reception were revealed. The results were presented at research conferences and incorporated into "Proust et l'art pictural" (Champion) and translation of "In Search of Lost Time" (Iwanami Bunko).

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学

キーワード：仏文学

## 1. 研究開始当初の背景

プルーストと芸術に関する従来の研究は、絵画では Juliette Monnin-Hornung, *Proust et la peinture* (Droz, 1951) や、申請者の著作『プル

ースト美術館』(筑摩書房、1998)、『プルーストと絵画』(岩波書店、2008)、音楽では、Jean-Jacques Nattiez, *Proust musicien* (Christian Bourgeois, 1999)、中世建築では Luc Fraisse, *L'Œuvre cathédrale, Proust et l'architecture*

*médiévale* (Corti, 1990) など、特定の芸術分野に関する個別研究が発表されてきた。しかし作家と芸術との関係を総合的にあつかった著作としては、フランス国立図書館での展覧会カタログ *Marcel Proust, l'écriture et les arts* (Gallimard, 1999) を数えるのみである。本研究は、この欠落を補うため、プルーストと絵画について実証的かつ総合的な研究を発表してきた申請者が、同じ調査方法を用いたうえで、対象を他の芸術分野にも拡げ、はじめて作家と諸芸術に関する総合的調査を行い、プルースト研究発展の基礎を築こうとするものである。

## 2. 研究の目的

本研究は、フランスの作家プルーストが、その生涯においてどのような芸術をいかに受容していたかを網羅的に調査するとともに、受容された芸術が代表作『失われた時を求めて』にどのように取り込まれ、それが作中でどのような機能を果たしているかを総合的に解明するため、固有名詞調査に基づく基礎的研究をまとめることを目的とする。

## 3. 研究の方法

(1) 本研究では、関連する研究文献を参照しつつ、詳細な注解が付された『失われた時を求めて』校訂版 *À la recherche du temps perdu*, (Bibliothèque de la Pléiade, Gallimard, 4 vol, 1987-1989)、コルブ編纂の『プルースト書簡集』(*Correspondance de Marcel Proust*, Plon, 21 vol, 1971-1993)などの一次資料を基礎に、日本のプルースト研究会が完成した『書簡集総合索引』(*Index général de la Correspondance de Marcel Proust*, Presses de l'Université de Kyoto, 1998)などの補助資料も活用し、これら文献に現れた芸術家および芸術作品に関する網羅的な固有名詞調査を実施する。

(2) プルーストと接点を有する同時代の芸術がどのような状況にあったかを解明するため、当時の展覧会、演奏会、公演プログラムをはじめ、絵画・音楽・建築・演劇・バレエ・装飾芸術、写真などの諸芸術に関する書物や論文やカタログなどを蒐集する。以上の調査研究にあたり、直接に購入できない資料については、国内の大学図書館、パリのフランス国立図書館、高等師範学校図書館、オルセー美術館資料室、オペラ座図書室などで調査および文献収集を行う。

(3) 『失われた時を求めて』と関連作品、『プルースト書簡集』、プルーストの伝記や個別研究などの文献をあらためて読み直し、絵画、音楽などの分野別に、作家が実際に受容し、作中に取り入れた芸術作品について、作家が

どのような評価をしていたかも調査する。

(4) (1)で抽出した芸術作品がどのように作品にとり込まれたかを明らかにするため、フランス国立図書館が所蔵する創作メモ帳、草稿ノート、タイプ原稿、校正刷などの関連箇所を解説・調査し、作家の創作過程を具体的証拠にもとづき明らかにするよう努める。

(5) 以上の基礎調査に基づき、プルーストの芸術受容に関する特徴的な事例につき、論文や口頭で研究成果を発表する。

## 4. 研究成果

(1) 作家の芸術受容について、絵画、音楽、建築、演劇、バレエなどの分野はもとより、装飾芸術、写真などのサブカルチャー、芸術批評、美的体験としての旅など、文学以外の芸術と関連するすべての領域について、プルーストの各種刊本および上記『書簡集総合索引』などを活用しつつ、プルーストの著作に現れた芸術に関する固有名詞をある程度網羅的に調査することができた。

(2) その結果、作家が、さまざまな芸術を多様な媒体を通じて広範に受容していたことを実証的かつ総合的に明らかにできた。

(3) とくにプルーストの絵画の受容では、オリジナルの作品だけでなく、当時の美術書の図版など、二次資料が大きな役割を果たしたことが明らかになった(ローランス版「大画家」シリーズや「著名芸術都市」シリーズなど)。このような受容のありかたが、音楽や建築など他の芸術分野にも当てはまることを、従来等閑視されてきた二次媒体(展覧会、演奏会、上演、ポスターなど)によって解明できる基盤をつくった。

(4) 受容された芸術作品がどのように代表作『失われた時を求めて』に取り込まれたかについて、いくつかの例について、小説本体や初期作品や批評文だけでなく、作家の草稿研究で実績のある申請者が、フランス国立図書館所蔵の創作メモ帳、草稿ノート、タイプ原稿、校正刷などの資料を調査することにより、受容から創作へのプロセスを具体的に明らかにできた。

(5) とりわけ調査の進んだ分野を中心に、研究発表の項目に記した成果をえた。『失われた時を求めて』における画家ベノッツォ・

ゴッツォリ、ジュヌヴィエーヴ・ブラバン伝説、スワンの美術趣味の生成、さらに広くプルーストにおける芸術の受容と創作などに関する研究成果である。成果の一部は、プルーストと絵画に関するフランス語による著作 *Proust et l'art pictural* (Champion) や、『失われた時を求めて』の翻訳(岩波文庫)の訳注などにも取り入れた。

(6)以上の成果により、とかく観念的に解読されがちな『失われた時を求めて』の芸術理念を当時の文化状況のなかに位置づけ、従来「創作の秘密」とされてきた作家の芸術受容と創造との関係をより実証的に解明する道を拓くことができた。また本研究の成果は、文学研究の立場から、美術史、音楽史など、他の芸術の歴史記述に新たな方法を示唆することができたのではないかと考える。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

1. Kazuyoshi Yoshikawa, « Genèse et structure des allusions à Benozzo Gozzoli dans la *Recherche* », *Proust aux brouillons*, Turnhout (Belgique), Brepols, 2011, p. 177-189. (査読なし)
2. Kazuyoshi Yoshikawa, « Une nouvelle traduction de Proust en japonais », *Revue de la Bibliothèque nationale de France*, n° 38, septembre 2011, p. 34-39. (査読なし)
3. Kazuyoshi Yoshikawa, « Proust et la peinture : approches génétiques », *Comment naît une œuvre littéraire? Brouillons, contextes culturels, évolutions thématiques*, Champion, 2011, p. 297-309. (査読なし)
4. Kazuyoshi Yoshikawa, « Die Entstehung der *Recherche* aus der Korrespondenz », *Marcel Proust*, Marcel Proust Gesellschaft, Insel Verlag, Berlin, 2010, p. 202-213. (査読なし)
5. Kazuyoshi Yoshikawa, « Les collectionneurs de tableaux », *Proust et ses amis*, sous la direction de Jean-Yves Tadié, Gallimard, 2010, p. 179-194. (査読なし)
6. Kazuyoshi Yoshikawa, « Originalité et idolâtrie artistiques chez Proust », *Originalités proustiennes*, sous la direction de Philippe

Chardin, Éditions Kimé, 2010, p. 35-45. (査読なし)

7. Kazuyoshi Yoshikawa, « Du *Contre Sainte-Beuve* à la *Recherche* », *Proust, la mémoire et la littérature*, séminaire 2006-2007 au Collège de France, Odile Jacob, 2009, p. 49-71. (査読なし)

[学会発表] (計9件)

1. Kazuyoshi Yoshikawa, « De quelques ajouts tardifs à *Du côté de chez Swann* », colloque « Proust, l'œuvre des manuscrits », Bibliothèque nationale de France, 2 mars 2012.
2. 吉川一義「プルースト『失われた時を求めて』と絵画」, 同志社大学言語文化学会学術講演会, 同志社大学田辺キャンパス, 2011年12月7日.
3. Kazuyoshi Yoshikawa, « Proust et la représentation de l'histoire contemporaine : l'affaire Dreyfus et la Grande Guerre », colloque « Comment la fiction fait histoire. Emprunts, échanges, croisements », Institut franco-japonais du Kansai, 20 novembre 2011.
4. Kazuyoshi Yoshikawa, « La peinture de la mer dans la *Recherche* », « Le 4<sup>e</sup> Balbec normand de Marcel Proust », Casino de Trouville, 2 juillet 2011.
5. Kazuyoshi Yoshikawa, « Comment traduire Proust en japonais », colloque « Études de langue et littérature françaises en Asie du Nord-Est pour le XXI<sup>e</sup> siècle », Université Korea, Séoul, 10 décembre 2010.
6. Kazuyoshi Yoshikawa, « Proust et l'impressionnisme », colloque « Proust et le XIX<sup>e</sup> siècle : tradition et métamorphose », Université Sorbonne-Nouvelle Paris III, 1<sup>er</sup> décembre 2010.
7. Kazuyoshi Yoshikawa, « Proust et la critique d'art du XIX<sup>e</sup> siècle », colloque « Proust face à l'héritage du XIX<sup>e</sup> siècle : filiations et ruptures », Institut franco-japonais du Kansai, Kyoto, 21 novembre 2010.
8. Kazuyoshi Yoshikawa, « Geneviève de Brabant : réseaux thématiques contextuels », colloque « Marcel Proust et le Moyen Âge », Université Michel de Montaigne Bordeaux 3, 26 mars 2010.
9. Kazuyoshi Yoshikawa, « Genèse et structure des allusions à Benozzo Gozzoli dans la

Recherche », colloque « Proust en son temps : contextes culturels d'une genèse romanesque », Maison franco-japonaise, Tokyo, 19 avril 2009.

〔図書〕（計4件）

1. Kazuyoshi Yoshikawa, *Proust et l'art pictural*, préface de Jean-Yves Tadié, Champion, 2010, 410 p.

2. プルースト『失われた時を求めて3 花咲く乙女たちのかげに I』（翻訳と注解），岩波文庫，2011年11月，498 p.

3. プルースト『失われた時を求めて2 スワンの家のほうへ II』（翻訳と注解），岩波文庫，2011年5月，560 p.

4. プルースト『失われた時を求めて1 スワンの家のほうへ I』（翻訳と注解），岩波文庫，2010年11月，468 p.

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

吉川 一義 (Yoshikawa Kazuyoshi) (京都大学・文学研究科・名誉教授)

研究者番号：30119870

(2) 研究分担者 : なし  
( )

研究者番号：

(3) 連携研究者 : なし  
( )

研究者番号：